

有田八郎 ありだ 外交官。明治十七年九月二十一日新潟縣佐渡生れ、  
 昭和四十年二月四日没（八十四歳）。政治家山本徳二郎の養弟。第  
 一高等學校を経て、明治四十一年東京帝國大學法科大學卒。外務省入  
 省、外務次官等を経てブルギー、中華氏國駐劄大使。昭和十一年以降  
 廣田・第一次近衛・平沼・米内各内閣の外相兼任。この間十二年貴族  
 院議員。二十八年衆議院議員、二十四年都知事選挙に出馬も落選。二十  
 六年三島由紀夫の小説「ロ宴のあと」をブライバシーの侵害として告訴  
 したことは有名。

著書の「人の世の塵を見る」外交問題回顧録（昭和二十二年十月）  
 十五日大日本雄辯會講談社）、「私の見る再軍備」（昭和二十七年四  
 月五日朝日新聞社）、「終戦建白書」（昭和二十二年十一月十五日大  
 学書房）、「馬鹿八と人は言ひ」外交官の回想（昭和二十四年十  
 二月）二十五日光村堂）等。和村ゆたか著「料亭般若若苑マダム物語」元  
 外相有田八郎氏夫人」（昭和二十二年二月十日大陽出版社）がある。

